

# 目 次

		ページ
SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	重力波天文学	藤本真克 8
EUREKA 〈研究紹介〉	南銀極領域のKバンド銀河計数	峰崎岳夫 14
天球儀 〈読物〉	ナスカの地上絵とマリア・ライハ 2	海部宣男 22
書評	ハッブル望遠鏡が見た宇宙	29
シリーズ	《サイエンスだってやっています！ 公開天文台(1)》 和歌山県美里町・みさと天文台	尾久土正己 30
雑報	天文教育フォーラム報告 「21世紀の公共天文台」	32
	ADASS '97 報告	34
	早川基金による渡航報告書	36
月報だより		37

## 表紙説明

国立天文台三鷹キャンパス内に、基線長 300 m のレーザー干渉計型重力波検出器「TAMA300」が建設中である。既に施設と真空容器は完成しており、光学系も一部が組み上がっている。今後は高出力レーザーの設置、300 m 光共振器の試験、マイケルソン干渉計実験と進み、平成 10 年 8 月に運転開始の予定である。

(SKYLIGHT 参照)

### Design Concept ●表紙イラストレーション：藤居保子

人類が持てる力で地球の外海へと出向いて行きし時代である。いつか銀河中心にそれを送り出す時、出会う現象の驚異とその解明の、苦難の航海を想わずにはられない。

表紙画面は、我々がいつの日か知るであろうその正体からいかなる声を聞くのか、恐れと期待の交ざり合うイメージ・コンポジションとでも言えるだろうか。